

レンタル品取扱説明書

p.1-4 発電機

p.5-16 その他火気器具・電気機器

p.5 焼き台

p.6 焼き鳥機

p.7 たい焼き機

p.8 鉄板焼

p.9 たこ焼き機

p.10 おでん鍋

p.11 ガスコンロ

p.12 クレープ焼き機

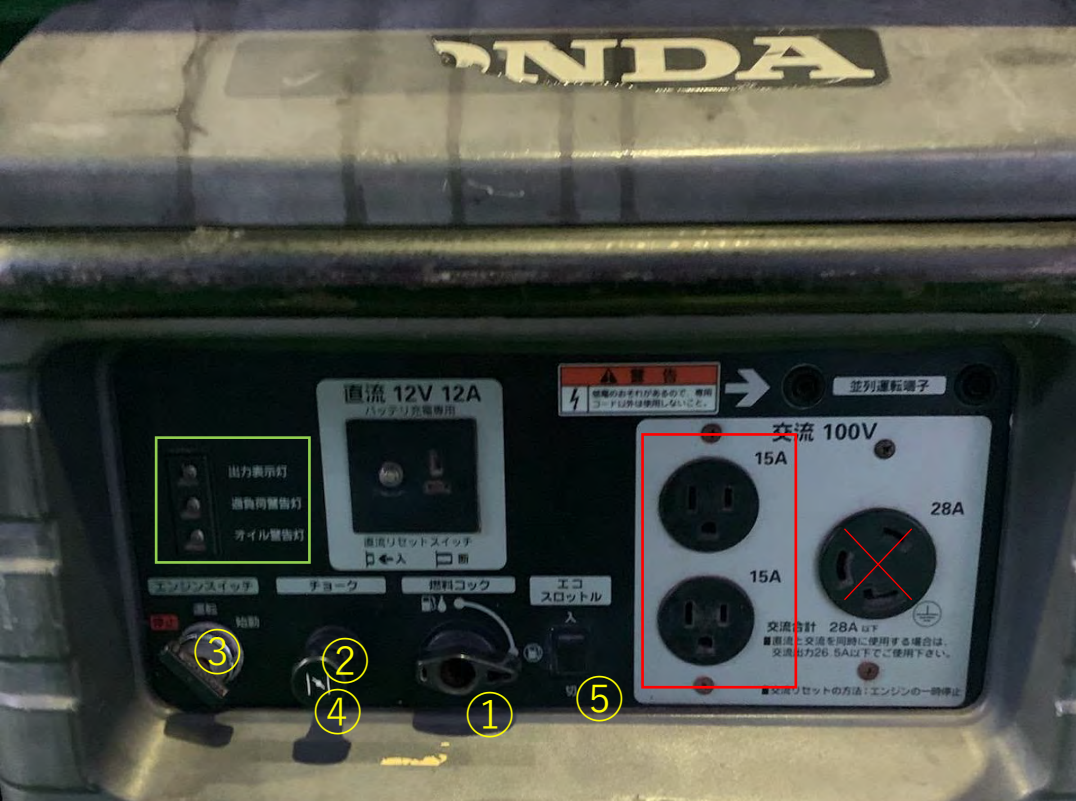
p.13 卓上フライヤー

p.14 電気綿菓子機

pp.15-16 ポップコーン機

2800W

※発電機はできる限り水平な地面の上に設置してください。



※はじめから本体が起動しない場合は青文字部分を確認してください。
※使用中に本体が止まってしまった場合は赤文字部分を確認してください。
(ガソリンが入っていることは前提としております)



【起動時】 ※燃料（ガソリン）が入っている事の確認

- ①燃料コックを上向き（ON）にする
- ②チョークレバーを引く
- ③スターターを回す。かかりづらい場合は③‘の始動グリップ強く引いて起動させてください。
- ④エンジンがかかったらチョークレバーを戻す
- ⑤2800Wの容量に対して使用W数が少ない場合はエコの方が燃費がいいです。

使用中に止まったりしてしまう場合は通常モードにしてください。

上記の工程後 のコンセントに機器をつないでください。
15A（1500W）以内であればタコ足配線も可です。

【使用中】

内の真ん中の過負荷異常のランプが
ついた場合は容量オーバーです。
接続機器の容量を確認ください。

内の下のランプ（オイル警告灯）が点灯した
場合は、直ちに委員会担当者に連絡をしてください。

【使用後】

③のスターターを停止にしてエンジンを切ってください。 1

2800W

※発電機はできる限り水平な地面の上に設置してください。



※はじめから本体が起動しない場合は青文字部分を確認してください。
※使用中に本体が止まってしまった場合は赤文字部分を確認してください。
(ガソリンが入っていることは前提としております)

【起動時】 ※燃料（ガソリン）が入っている事の確認

- ① **チョークの位置までレバーを回す**
- ② **鍵を差し込み運転の位置にセット**
- ③ **始動グリップ強く引いて起動させてください。**
- ④ **エンジンがかかったらレバーを開の位置に**
- ⑤ **2800Wの容量に対して使用W数が少ない場合はオートパワーセーブの方が燃費がいいです。**

使用中に止まったりしてしまう場合は通常モードにしてください。

上記の工程後 のコンセントに機器をつないでください。

15A（1500W）以内であればタコ足配線も可です。

【使用中】

発電機が止まってしまった場合は、容量オーバーの可能性がります。一度コンセントを外して再度起動してください。起動しない場合は委員会担当者に連絡をしてください。

⑥のランプ（オイル警告灯）が点灯した場合は、直ちに委員会担当者に連絡をしてください。

【使用後】

②の鍵を回してエンジンを切ってください。



1600W
900W

※発電機はできる限り水平な地面の上に設置してください。

【起動時】 ※燃料（ガソリン）が入っている事の確認

- ①燃料給油キャップのつまみを（ON）にする
- ②チョークレバーを右（始動）に合わせる
- ③エンジンスイッチを運転にする
- ④始動グリップ強く引いて起動させてください。
- ⑤エンジンがかかったらチョークレバー運転の位置に。
- ⑥1600Wの容量に対して使用W数が少ない場合はエコスイッチがONの方が燃費がいいです。

使用中に止まったりしてしまう場合、エンジン音に違和感がある場合は通常モードにしてください。

上記の工程後 のコンセントに機器をつないでください。
コンセント2つ合わせて1500Wなのでご注意ください。
(900W)

【使用中】

内の真ん中の過負荷異常のランプが
ついた場合は容量オーバーです。
接続機器の容量を確認ください。

内の上のランプ（オイル警告灯）が点灯した場合は、直ちに委員会担当者に連絡をしてください。

【使用後】

③のスターターを停止にしてエンジンを切ってください。 3

※はじめから本体が起動しない場合は青文字部分を確認してください。
※使用中に本体が止まってしまった場合は赤文字部分を確認してください。
(ガソリンが入っていることは前提としております)

1600W

※発電機はできる限り水平な地面の上に設置してください。



※はじめから本体が起動しない場合は青文字部分を確認してください。
※使用中に本体が止まってしまった場合は赤文字部分を確認してください。
(ガソリンが入っていることは前提としております)

【起動時】 ※燃料（ガソリン）が入っている事の確認

- ①燃料キャップつまみをONにする
- ②スイッチをONにする
- ③チョークレバーを引く
- ④始動グリップ強く引いて起動させてください。
- ⑤エンジンがかかったらチョークレバーを戻す
- ⑥1600Wの容量に対して使用W数が少ない場合はエコスイッチがONの方が燃費がいいです。

使用中に止まったりしてしまう場合、エンジン音に違和感がある場合は通常モードにしてください。

上記の工程後 のコンセントに機器をつないでください。

コンセント 2つ合わせて1500Wなのでご注意ください。

【使用中】

⑦の過負荷異常のランプがついた場合は容量オーバーです。接続機器の容量を確認ください。

⑧のランプ（オイル警告灯）が点灯した場合は、直ちに委員会担当者に連絡をしてください。

【使用後】

②のスターターをSTOPにしてエンジンを切ってください。

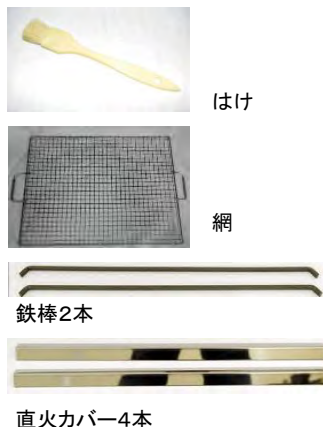
商品イメージ



商品詳細

サイズ：H190xW450xD230
LPガス使用量：0.67Kg/h

付属品



注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

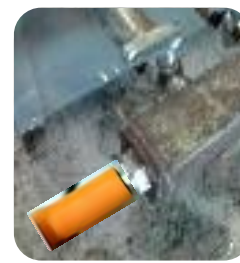
●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●直火カバーをせずに使用すると、落ちたタレや油でガス噴射口がふさがってしまいます。必ず**直火カバー**を使用してください。

●本商品は重い**ため、持ち運びの際には十分ご注意ください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



ガスボンベの元栓を開き4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)着火後、バーナーに**直火カバー**を被せてください。

④空気調整



開く
締める



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



運搬時に持たない

付属品



たれ入れ



鉄棒2本



直火カバー2本

商品詳細

サイズ：H150xW710xD140

LPガス使用量：0.37Kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●直火カバーをせずに使用すると、落ちたタレや油でガス噴射口がふさがってしまいます。必ず**直火カバー**を使用してください。

●本商品は重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



ガスボンベの元栓を開き2カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)バーナーに**直火カバー**を被せてください。

④空気調整

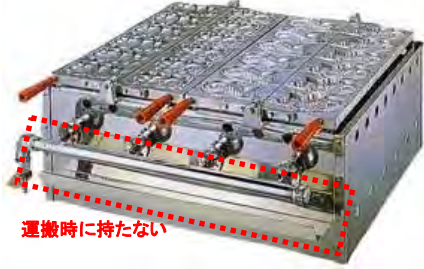


開く
締める



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



商品詳細

サイズ: H280xW680xD570 重量: 49kg
LPガス使用量: 0.76Kg/h

付属品



注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



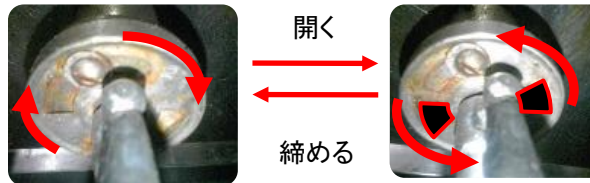
ガスボンベの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



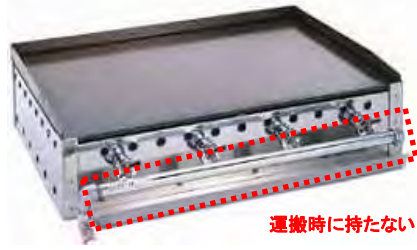
ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④空気調整



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



付属品



商品詳細

サイズ: H180xW600xD550 重量: 47kg
LPガス使用量: 0.47Kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、パーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出るまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たないでください。**

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

●鉄板が本体にはめ込まれているか確認のうえ使用してください。

●本体を上下さかさまに使用する事故が発生しています。底面には注意書きがありますので、確認のうえ使用してください。



①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



本体元栓



コック

ガスポンペの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



鉄板を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④空気調整



開く



締める



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



付属品



商品詳細

サイズ: H180xW510xD260 重量: 8kg
LPガス使用量: 0.18kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●本商品は重い**ため、持ち運びの際には十分ご注意ください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



ガスボンベの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



鉄板を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④空気調整



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



運搬時に持たない

商品詳細

サイズ: H180xW510xD260 重量: 8kg
LPガス使用量: 0.18Kg/h

付属品



おでん用おたま



さい箸

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



ガスボンベの元栓を開き、コックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



鍋を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。
100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。
着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④空気調整



(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



運搬時に持たない

付属品

なし

商品詳細

2重コンロ LPガス使用量:0.52Kg/h

3重コンロ LPガス使用量:0.95Kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意

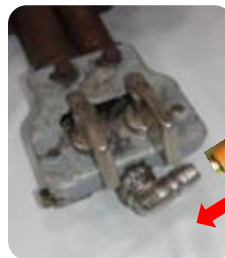


遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓



ガスボンベの元栓を開き、コックを開きます。(矢印方向で開栓します)

③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④空気調整



開く



締める

(○:青火 ×:赤火)
赤火は不完全燃焼状態です。青火になるまで、空気調整をしてください。

商品イメージ



付属品



商品詳細

サイズ: H230xW550xD450 重量: 19kg
LPガス使用量: 0.37Kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たないでください。**

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②開栓・着火



【電気着火式の場合】

点火つまみが、「閉」の位置になっていることを確認してください。
点火つまみを押しながら「開」の方向にゆっくり回してください(点火つまみを押した時から「ジー」と音がします。点火つまみを押したまま数秒そのまま保持してください。何度か繰り返すと、着火されます。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

【ライター着火式の場合】

点火つまみが、「閉」の位置になっていることを確認し、「開」の方向に回してください。側面の穴からガス噴射口に着火します。
100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。
着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)



商品イメージ



付属品



かすとり網

商品詳細

サイズ: H400xW400xD500 重量: 25kg
LPガス使用量: 0.54Kg/h

注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



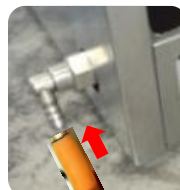
遮熱板を使用

●はじめで使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出るまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

●使用後の油は廃油を行った後、適正に処理してください。**油凝固剤は絶対に使用しないでください。**

①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

②給油



油温計の上のボーダーラインまで食用油を12L程度を入れて下さい。油が少なすぎても、多すぎても正常作動せず、故障・火災の原因となります。

③着火



点火つまみが、「止」の位置になっていることを確認してください。点火つまみを押しながら「点火」の方向に、「カチッ」と音がするまでまわしてください。点火つまみを押したまま数秒そのまま保持してください。何度か繰り返すと、着火されます。着火されたことを点火窓より目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

④温度調節



温度調整ダイヤル(サーモ)より温度調整を行ってください。

⑤廃油



使用終了後・十分に油を冷まし、廃油をします。廃油切替レバーを矢印方向に回すと、レバー下の廃油ドレーンより廃油されます。油を受ける缶等を用意したうえで作業を行ってください。

商品イメージ



商品詳細

サイズ: H800xW640xD640 重量: 14kg
消費電力: 1.2Kw

付属品



組立手順

①ネジの取外し



※3か所のネジを外します

②受け皿の取付



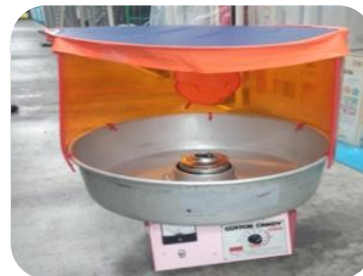
①のネジで3か所を固定します

③カバーの取付



フックでカバーを固定できます

④帽子の取付



利用手順

①電源を入れる



②アンペアを調整する



アンペア計の
数値が「10A」
になるように
つまみを調整し
てください。

③ザラメを投入



ザラメ投入後、
煙が出る場合
は、ダイヤルを
下げて調整し
て下さい。

④綿菓子を巻き取る



注意事項



電源容量注意



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



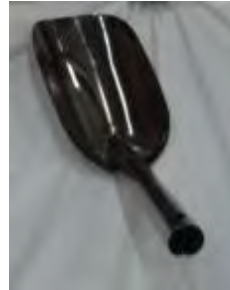
機材の上下裏表注意

- ザラメは1回分ずつ入れてください。一度に大量に入れると故障の原因となります。
- 指定の色付きザラメ以外は故障の原因となるため、おやめください。
- 使用終了時はワタアメが完全に**出切ってから電源を切ってください**。出切っていない状態で回転釜が冷めると、ワタアメが目詰まりしてしまいます。
- 本商品は消費電力が多いため、同系統から別器具の電源を取らないでください。タコアシ配線で使用しないでください。
- 発電機からの電源供給は動作不良の原因となるため、おやめください。
- 使用中に回転釜に手や割り箸が触れないようご注意ください。

商品イメージ



付属品



スコップ

商品詳細

サイズ: H630xW450xD350 重量: 19kg
消費電力: 1.2Kw

注意事項



電源容量注意



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意

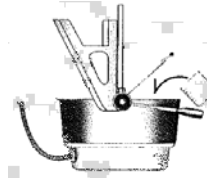
- 本商品は非常に重いので、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**
- 釜部分は非常に高温になります。調理中は**ハンドル以外を絶対に触れないでください。**
- 調理には食用油が必要です。
- 味付きのポップコーンを作る際には、**釜からあふれ出してから味付けをしてください。**釜に調味料を入れると、焦げ付きや火災の原因となります。
- 本商品は消費電力が多いため、同系統から別器具の電源を取らないでください。タコアシ配線で使用しないでください。
- 発電機からの電源供給は動作不良の原因となるため、おやめください。
- 電源スイッチをONにしても、動作しない場合、ヒューズが飛んでいる可能性があります。ヒューズの交換については、次ページをご参照ください。

①スイッチON



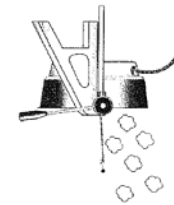
左の保温スイッチをONにした後、調理スイッチをONにしてください。調理釜が加熱されます。個の再窯が非常に高温になるため、絶対に触れないでください。5分ほどで十分加熱されます。

②材料投入



釜の蓋を開けます。その際、ハンドル部分を持ってあげてください。
コーン120g~150g、油20g~30gを入れ、蓋を閉めてください。コーンが加熱されるとはじけて釜からあふれ出します。

③完成



はじける音が止んだら、ハンドルを使用し、釜を回して残りを落とします。

④味付



コーンを落とした後、味付けをしてください。味は調理釜に調味料は入れないでください。

調理を終える場合は、調理スイッチをOFFにしてください。空炊きは火災や火傷の原因となります。

原因と対策

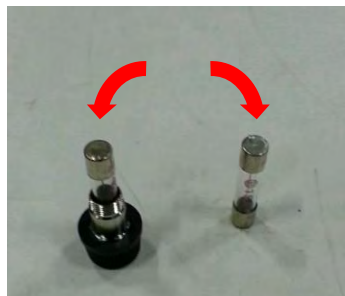
タコアシ配線等により、電気の供給が安定しないと、**過電流が発生**します。
その過電流から本体を守るため、ヒューズが飛びます。
過電流が発生する状況(タコアシ配線等)を解消したうえで、ヒューズ交換を行ってください。
また、本商品は消費電力が多いため、**同系統の電源から複数器材の電源を取らないでください。**

ヒューズの交換手順

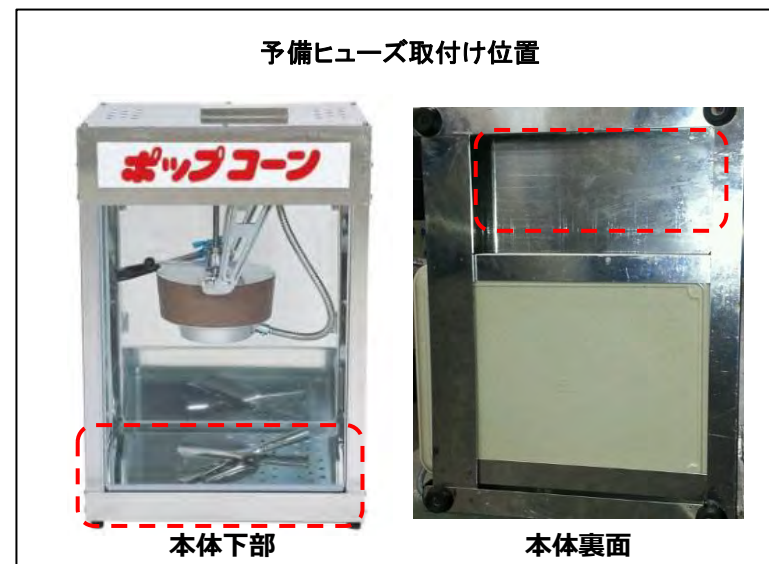
- ①作業開始前に電源をOFFにし、コンセントからプラグを外してください。
本体が十分冷えるまでお待ちください。本体を冷却する際、**濡らさないでください。**
- ②本体裏に貼り付けてある、ヒューズを取り外してください。
- ③操作盤の左側にあるヒューズ差し込み口からヒューズプラグを引き抜き、
使用中のヒューズを取り外して、予備のヒューズと交換してください。



ひねりながら、引き抜く



プラグから抜いて、交換



予備ヒューズ取付け位置

本体下部

本体裏面